

# 秋田工業高校近況

秋田県立秋田工業高等学校 校長

## 新田 宏光



「KANASA」創刊20号おめでとうございます。

昨年4月、その前年に発刊された「KANASA」を初めて拝見したとき、その内容の充実ぶりに驚かされました。これは単なる会報と違って、母校とOB、OBとOB、そして秋田県と秋田県人をつなぐ様々な情報の詰まった「宝箱」のようなものだと感じました。これも代々の会長様や三平会長様、会員皆様のご尽力の結果だと敬意を表したいと思います。昨年、初めて各地域の同窓会に出席させていただきました。人数の多少はあれ、どこでも皆さんがお元気であり、気持ちの奥底では未だに「秋工」で強くつながっていることを実感しました。やはり伝統の力というのはそんな所にあるのかなと思っています。

ここで学校の状況をお知らせします。今、大きな動きとして校舎改築があります。本年度中に設計を終えて、来年度早々には体育館棟から着工する予定です。校舎も含めて建築場所は敷地の北側、現在のサッカー場や体育館あたりとなります。柔道や剣道、空手等向けの武道場、60人が合宿できるセミナーハウスも計画

されています。同窓会館(金砂会館)は120mほど曳き屋して新校舎の前に移築する予定です。また、新校舎の中には「ストーリーホール」と称して、秋工の歴史を知る上で貴重な展示等がされる空間(3階吹き抜け、130㎡)も設けられます。今後、展示物等で会員の皆様にご協力いただくこともあろうかと思いますが、その節はよろしくお願いいたします。

また、来年度から入試関係でも大きな動きがあります。今まで3回あった受験機会が、前期と一般の2回のみとなり、定員に満たない場合は二次募集とする。本校で実施していた「くくり募集」はとりやめ、各科ごとの募集とする。定員を1クラス5名減の35名とする等々です。1学年で30名、今後3年間で90名の生徒が減少するというのは、大きな痛手ですが、少子化という秋田県の現状を見れば、やむを得ない対応かと思えます。

部活動は、多くの部が非常によくがんばっています。春の全国選抜大会へは柔道、バドミントン、ラグビーが出場し、特にラグビーは久々に上位の成績を上げることができました。その節には、多くの同窓会員の皆様が会場へ足を運んで頂き、熱い応援をしてくださったことに心より御礼申し上げます。選手達にとっても大きな励みになったと思います。さらに、今年はラグビー部が花園出場だけでなく、「優勝」の2文字とともに、後日いいお知らせができる事を期待しているところです。

校舎改築真ただ中の平成26年には、本校創立110周年を迎えます。100周年ほどの規模ではないにしろ、記念行事や記念式典を計画しているところです。同窓会の皆様には、今後何かとご援助ご協力をお願いすることになるかと存じますが、どうかよろしくお願いいたします。

終わりになりますが、「東京秋工会」の益々のご隆盛、さらには会員皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

## 澤木萬國特許事務所

内外国への特許、実用新案、意匠、商標出願、侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 澤木 誠一  
(昭和26年 電気科卒/東京秋工会名誉会長)

弁理士 澤木 紀一

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番11号 ル・グラシエル BLDG.16 4F

TEL : 03 - 3501 - 0937 (代) FAX : 03 - 3595 - 0059

E-mail: sawaki.pat@mbd.nifty.com